

市長定例会見

2025年12月11日

1. 火葬場の整備等に対する支援に関する国への要請
2. 新長田シタマチスタートアッププロジェクト
～ 起業家による空き家の活用が進んでいます ～
3. マンション空き家流通促進事業“ミセリノベ”
4. 神戸の山にでかけよう
～ 神戸登山プロジェクト ～

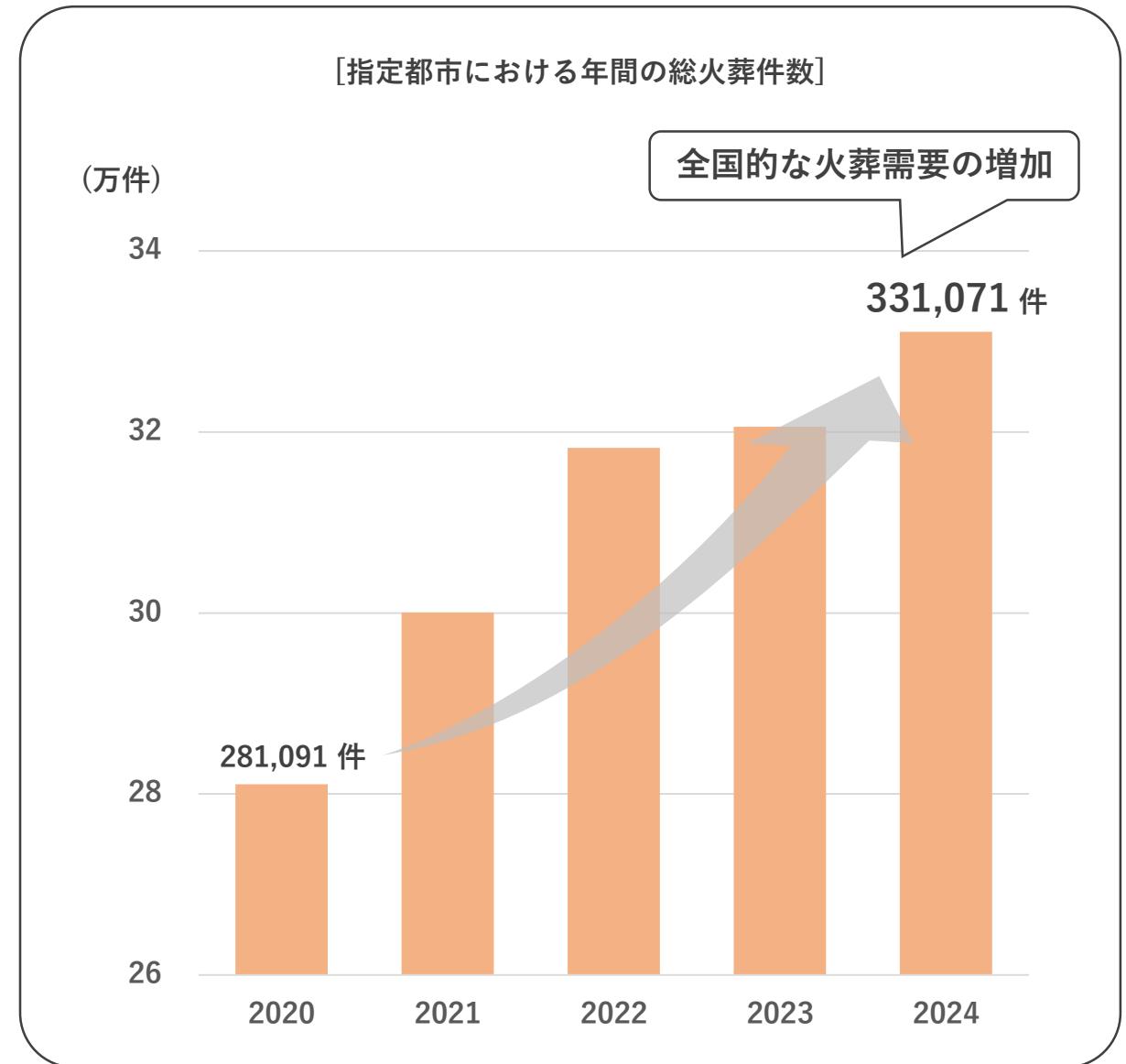
火葬場の整備等に対する支援に関する国への要請

増える火葬需要

- 全国的に火葬需要の増加が見込まれる中、火葬場の整備などが各指定都市で喫緊の課題（築30年以上が約6割）
- 火葬場の整備に対する財政支援が墓地・埋葬等に関する法律に規定されていない
- 厚生労働省通知で下記を求めている
 - ・ 経営主体は原則として地方自治体であること
 - ・ 公衆衛生、永続性、非営利性を確保すること



国の財政支援がないため、自治体の大きな負担



神戸市における火葬場の状況

[施設一覧]

- ・ 鶴越斎場 (北区・1974 年供用開始)
- ・ 甲南斎場 (東灘区・1950 年供用開始・1970年改築)
- ・ 西神斎場 (西区・1993 年供用開始)
- ・ 有馬斎場 (北区・1947 年供用開始・1989年改築)

2034年度から
新斎場へ再整備予定

[利用料 (市民・大人の場合)]

12,000 円

鶴越斎場 (2022～23 内装改修)



[参考 | 東京23区内における火葬場]

火葬場数 | 9 か所 (公営 2 か所、民営 7 か所) 利用料 | 約 6 ～ 9 万円 (民営・大人の場合)

必要な財政措置

- 地方自治体による火葬場の整備等について、
補助制度を創設するなど必要な財政措置を早急に講ずること

法令への明文化

- 火葬場の整備等に係る国と地方自治体の役割分担や、
地方自治体が担うべき事務・権限に見合った財政支援に関しては、
本来法令により明文化すべきものであることから、
関係法令の整備に関しても併せて進めること

**新長田シタマチスタートアッププロジェクト
～ 起業家による空き家の活用が進んでいます ～**

新長田南エリア

BE KOBE

再整備が進む駅周辺

駅前広場再整備（意見募集実施中）



新長田キャンパスプラザ



西市民病院の移転（2031年夏頃）



下町情緒がありつつ、空き家も点在



概 要

新長田南エリアで

空き家などを活用する起業者（スタートアップ）の伴走支援を行う中で
新たな交流を生み出し、まちの界隈性の向上につなげる

[主な支援内容]

- ・ 物件のマッチングや建物改修の支援
- ・ 事業計画づくりや起業後の販路拡大などで先輩起業家と連携

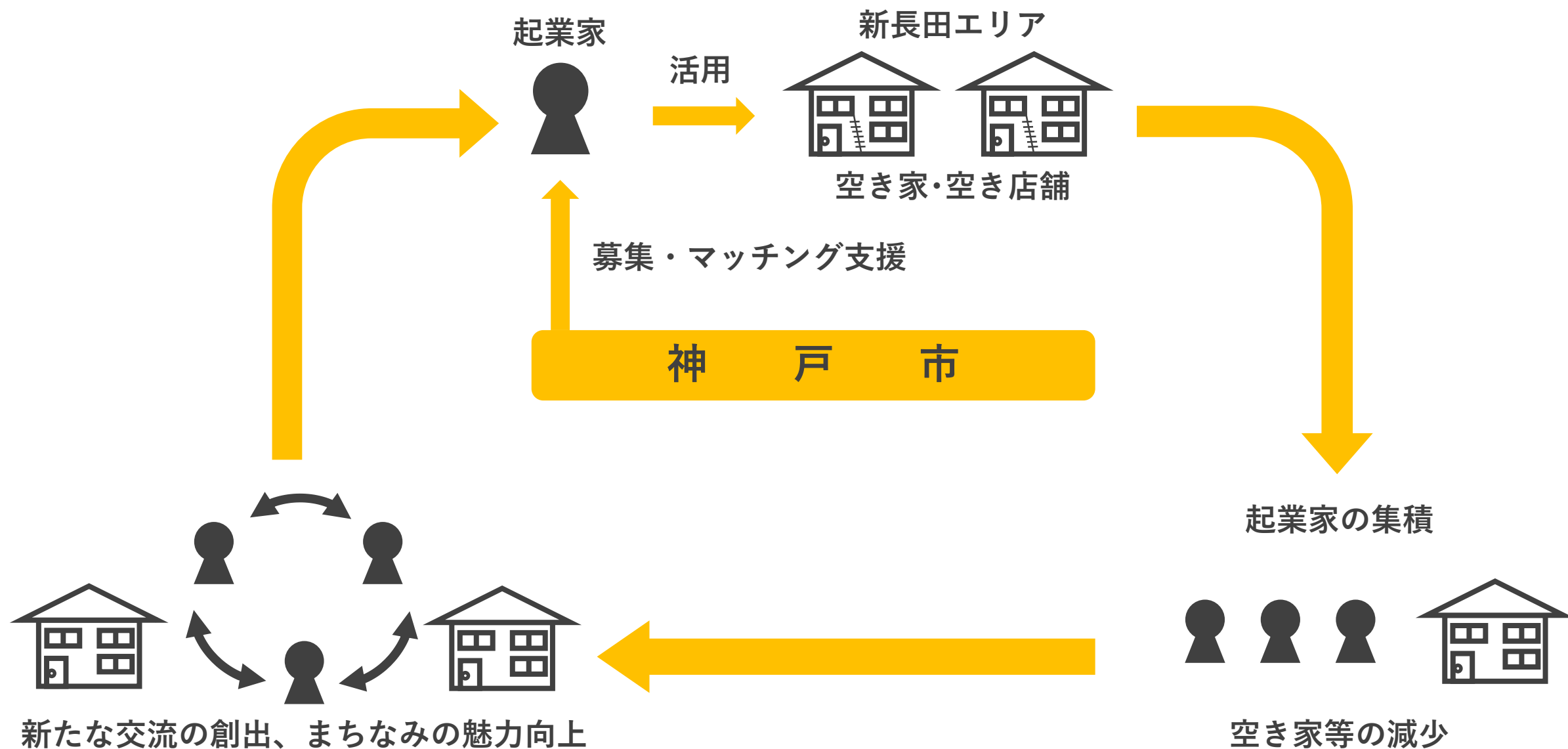
拠点開設時に活用できる
最大80万円の支援金もあります

対 象

幅広い業種（ものづくり、飲食業、小売業など）で、起業意欲のある方

“まちの界隈性”を活かした持続的な好循環

BE KOBE



これまで8施設がオープン (2023~2025)

BE KOBE

① 柳谷縫務店



キャップ制作・販売

② ハウスネクストドア



ダンス創作活動の場

③ コパン



トリミングサロン、カフェ

④ 丸五スパイスアップ



飲食、ギャラリー



⑤ wooddesign (株)



グッズ製作販売

⑥ ナガタbond



シェアアトリエ

⑦ (一社) こたつむり



フードパントリー等

⑧ アーツ新長田



多目的スペース

新たに 3 施設がオープン (計11施設に)

BE KOBE

⑨ ゆめみ堂 | レンタルスペースなど (11月16日)



⑩ ふつか | シルクスクリーン工房 (12月2日)



⑪ なすび | 深夜食堂 (12月3日)



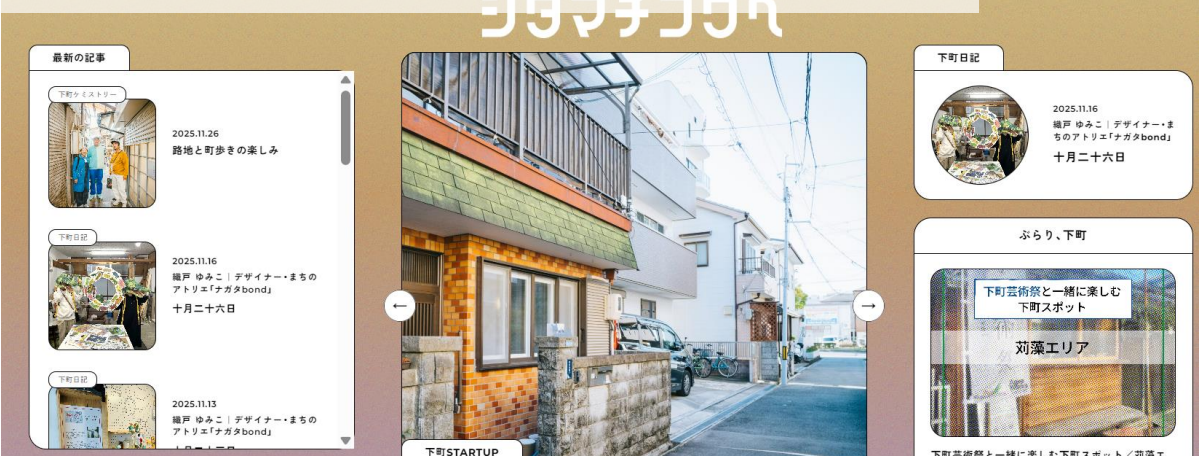
誰かの「シタマチではじめたい」を応援します

BE KOBE

START UP BAR | 先輩起業家・地元事業者との交流会



シタマチコウベ | 下町の情報を発信するウェブマガジン



先輩起業家が動画で魅力を発信 | 市公式YouTubeに掲載  KOBE



新長田での新たな拠点を検討している方はこちらへ →



マンション空き家流通促進事業“ミセリノベ”



神戸市マンション空き家流通促進事業

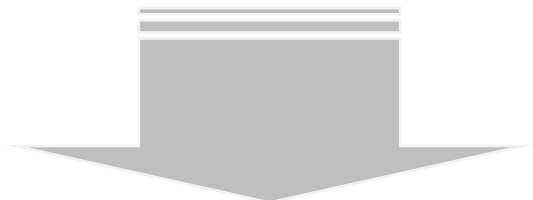
○ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け

既存住宅は省エネ基準を
満たすものが2割以下

既存住宅の断熱化など住宅ストック全体で省エネ性能確保に取り組む

(住宅・建築物分野はエネルギー消費量の約**3**割)

○ ヒートショック予防などの健康増進の観点からも省エネ住宅を推進

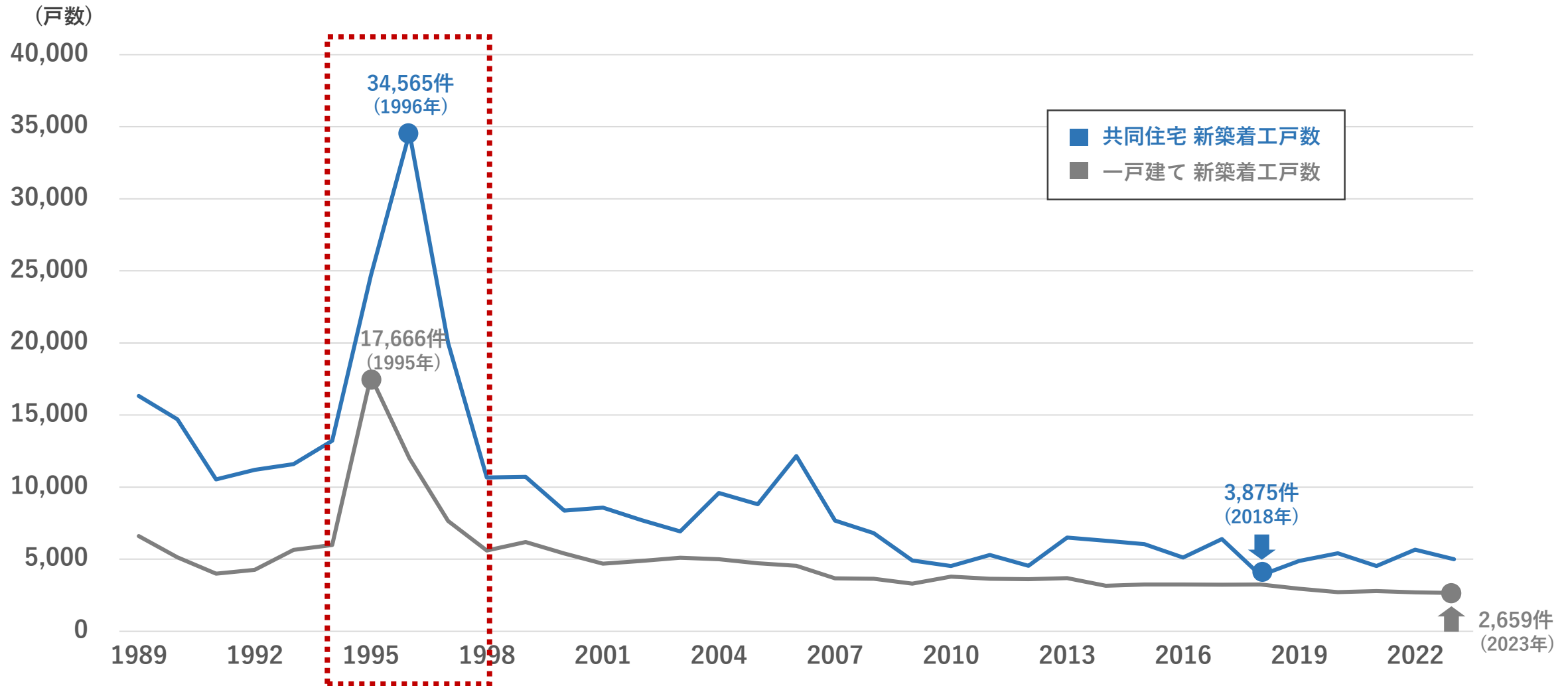


[既存住宅の省エネ性能引き上げの取り組み]

- ・ 販売・賃貸時の省エネ性能表示の努力義務化
- ・ 省エネ改修方法や改修効果のわかりやすい普及啓発
- ・ 省エネ改修に対する支援制度 (3省連携による補助 等)

市内は築30年を迎える住宅ストックが多い **BE KOBE**

[市内住宅着工戸数の推移]



概要

断熱リノベーション物件を市民・事業者に公開する取り組みを支援

→ 断熱化への意識啓発と断熱性能に優れた中古住宅の流通を促進

[対象物件]

断熱等性能等級 5 以上

事業者が分譲マンションを買い取り、断熱性能の高いリノベーションを実施
(市内の築10年以上かつ専有面積55㎡以上)

補助内容

工事見学会（事業者向け）、オープンハウス（市民・事業者向け）にかかる経費

→ 最大 **100** 万円

“ミセリノベ”の流れ

BE KOBE

事前準備

事業者がマンション
空き家を買取り

断熱リノベを実施
(断熱等性能等級 5 以上)



オープンハウス等

市民・不動産事業者・近隣住民向けの
内覧会を事業者が実施

断熱リノベ“工事現場見学”



事業者への波及を期待

完成内覧会・宿泊体験等



市民・近隣住民への波及を期待

市が最大100万円を支援

市場流通

性能の高い住宅が
市場に流通 (売却)

断熱住宅の
市民・事業者への
広がりを期待



“ミセリノベ”の見学会を実施

BE KOBE

工事現場見学会 (12/13,14)



完成内覧会 (12/21,1/18)



神戸の山にでかけよう
～ 神戸登山プロジェクト ～



安全安心な山歩きのための
“登山道整備”

[主な取り組み]

登山道・案内板
KOBE太陽と緑の道の再整備 等

自然をより楽しむための
“受入環境整備”

[主な取り組み]

トレイルステーション神戸
休憩キャビン、登山サポート店 等

神戸の豊かな自然を活かした
“アクティビティの充実”

[主な取り組み]

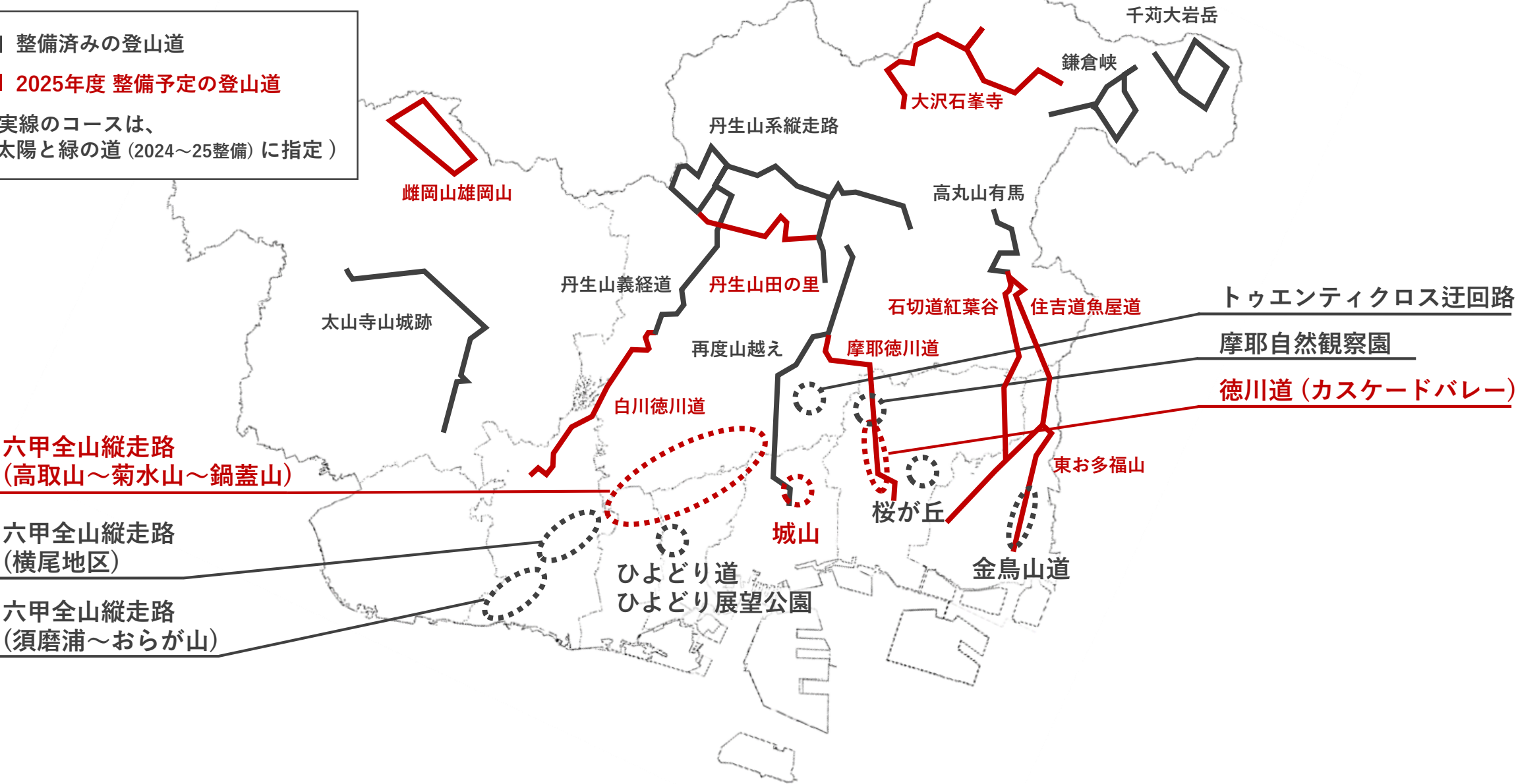
つくはら湖カヌー体験
マウンテンバイクコースの設置 等

安全安心な“登山道の整備”

■ 整備済みの登山道

■ 2025年度 整備予定の登山道

(実線のコースは、
太陽と緑の道 (2024～25整備) に指定)



より楽しむための“受入環境整備”

BE KOBE

トレイルステーション神戸



利用者数 | 21,005人 (11月時点)

神戸登山サポート店



店舗数 | 72店舗 (11月時点)

休憩キャビン



大師道、つくはらに設置

登山道沿いの老朽家屋解体



解体補助実績 | 13件

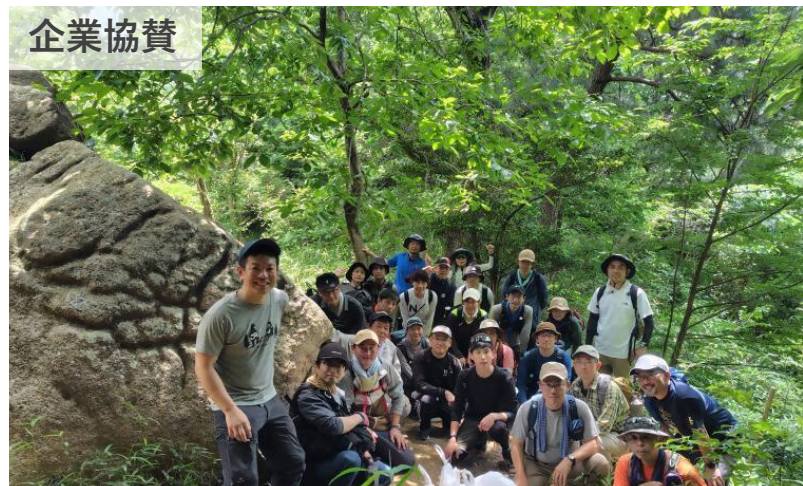
通信環境の整備



イメージ

再度公園など 8 か所にWi-Fi設置予定

企業協賛



寄附型 | 26社 29,600千円、活動型 | 21社

生まれ変わる登山道

BE KOBE

階段補修等



案内看板・道標の更新



登山道沿いの老朽家屋解体



641段 補修 ※R7予定 (181段)



430か所 更新 ※R7予定 (95か所)



解体補助実績 13件



自然を活かした“アクティビティ”

BE KOBE

つくはら湖カヌー体験 (2025年10月実施)



参加者数 | 全 8 回・108名

マウンテンバイクコース・初級コース (2025年 5 月オープン)
レンタルサービスも開始 (2025年12月14日～)
中級コース整備にも着手 (2026年春頃オープン予定)



約900名利用、協賛金 累計1,250万円

神戸の山を楽しむイベントも実施しています

BE KOBE

六甲山系の茶屋など全20か所を巡るスタンプラリー
(10月17日～2026年2月1日)



冬の六甲山をテーマにしたフォトコンテスト
(11月28日～2026年2月15日)



A photograph of four hikers walking away from the camera on a snowy mountain trail. The hikers are wearing backpacks and using trekking poles. The trail is covered in snow and is flanked by dense green foliage on the left and right. In the background, there are bare trees and a clear blue sky with some clouds. The text "変わり続ける“神戸の山々“をぜひお楽しみください" is overlaid in the center of the image.

変わり続ける“神戸の山々“をぜひお楽しみください